今市（いまいち）の石畳（いしだたみ）道路は、江戸時代の参勤交代（さんきんこうたい）道路の宿場町として栄え、本陣（ほんじん）、脇本陣（わきほんじん）をはじめ、茶屋、代官所造酒屋など、軒（のき）を並（なら）べてにぎわっていました。道幅（みちはば）8.5mの中央に幅2.1m、長さ660mにわたり、全面平石が敷（し）き詰（つ）められており、全国的にもこれだけの長さの石畳が残っているのは稀（まれ）で、県文化財史跡（せき）に指定されています。

高岩（たかいわ）神社は、天安2年に紀州熊野本宮（きしゅうくまのほんぐう）の神主（かんぬし）が建立（こんりゅう）したとされています。御神木（ごしんぼく）のトチノキは、推定樹齢（すいていじゅれい）1150年、幹回（みきまわ）り7m、樹高（じゅこう）35m、枝葉は30m程（ほど）に広がっています。ほかに2本のトチノキ・ナギ・イスノキなどの古木も生育しています。

